



ざんぐり



京都SKY大学
同窓研修会会誌
第114号



ミニ講座風景 「秋の草花巡り」 京都府立植物園にて (8ページ参照)



目次

研 修 講 座	『ふれあいサイエンス』京都市青少年科学センター…………… 金子功(2)(3)
秋のバス研修旅行	「舞子海上プロムナードとグリコピア神戸 (工場) 見学」…………… 弓削俊彬(4)(5)
共 催 講 演 会	「定年後の遊び方」を聞いて・・・自身が思う事 (1)…………… 三木俊和(6)
	・・・自身が思う事 (2)…………… 吉田十啓(7)
秋のミニ講座	「秋の草花巡り」実施報告…………… 岩本照美(8)
秋のウォーキング	健康トライアルウォーキング「高野川河川敷～松ヶ崎駅」に参加して…………… (9)
事務局だより	新春バス研修旅行案内 他…………… (10)

発行 / 京都SKY大学同窓研修会
編集 / ざんぐり編集委員会

研修講座 2023年10月6日

『ふれあいサイエンス』京都市青少年科学センター

理事 金子 功

京都市青少年科学センターは、地元・京都の自然や生き物の生態をはじめ、恐竜や昆虫、科学のしくみなど、100点以上の体験型展示品をとおして、楽しみながら理科・科学が学べる施設です。

施設名にあるように青少年の学びの場がありますが、今回初めてシニア対象に講座を開いて頂きました。科学センターが目指す『科学者精神を体得した将来の市民を育てる』のお話の後、入館者が体験を通じて学ぶことができるようセンター所員の方が独自に開発された展示品や標本を見学しました。チョウの家では、優雅に飛ぶ沖縄の蝶に会い、またプラネタリウムでは季節の星座や最新の天文情報を盛り込んだ番組、生解説を満喫しました。



ティラノサウルス前に 参加者 36名 集合
2023年10月6日 9:30~12:00

■京都市青少年科学センター紹介



講師：青少年科学センター指導主事 中井祥平氏

京都市青少年科学センターは、昭和44(1969)年に、京都市の理科教育の総合教育施設として開館しました。以後、現在に至るまでの50年間余り、市内の小中学校や定時制高等学校、総合支援学校のほとんどの児童生徒は、科学センターに来所して、本市独特の観察実験学習やプラネタリウム学習、展示品を用いた展示学習を経験したことになります。また、市立学校の理科を担当する教員の方への観察実験を伴う研修を一手に担うとともに、学校における観察実験授業の円滑な運営に不可欠な「観察実験アシスタント」の任用や配置等も行っています。

まとめると、科学センターの運営方針『科学者精神を体得した将来の市民を育てる』のために、下記の3つの事業に取り組んでいます。

1. 市民科学事業

対象：一般市民

ねらい：科学を身近なものとして感じ、科学的事象に関心を持って頂くこと

内容：展示場やプラネタリウムの一般公開、各種の催しの実施

2. センター学習

対象：幼稚園・保育所、小学校、中学校、高校定時制、総合支援学校

ねらい：探求する過程の楽しさや厳しさを味わい、自然科学への興味・関心を高めること

内容：展示学習、実験室学習、プラネタリウム学習、科学工作

3. 教員研修・学校等支援事業

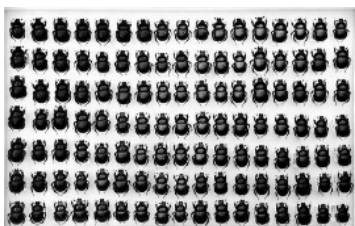
対象：市立幼・小・中学校の教員および理科担当教員

ねらい：科学技術の進歩や教育理論、方法の発達に対応した理科教育の改善

内容：教員としての資質の向上を図るため、実験や観察を中心として教員研修を実施

■展示見学

展示品や標本の多くは、入館者が体験を通じて学ぶことができるようセンター所員の方が独自に開発されています。また、一日かけてじっくり時間を取って見学したい展示品揃いでした。



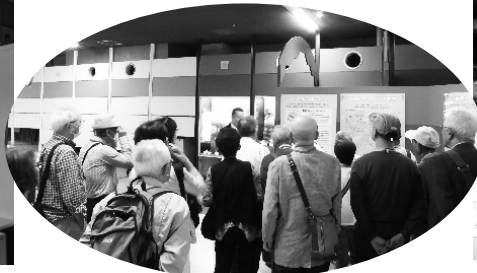
「遺伝子の多様性」
オオセンチコガネは、地域によって色が違う理由は、未だ不明



京都府の「県石」、見られる化石



ドローンの飛行のヒミツをさぐる



比べてみよう マグマからできた岩石

■チョウの家

沖縄に生息する3種類の蝶に出会った。優雅に飛ぶ、食事中、成虫前、チョウの世界へ！



ポカリスエットに集まる
「リュウキュウアサギマダラ」
他のスポーツドリンクは
NGだそうです



ペンタスの
花に夢中の
「オオゴマダラ」



もうすぐ飛び立つぞ！
サナギの
「シオオビアゲハ」

■プラネタリウム

プラネタリウムでは季節の星座や最新の天文情報を盛り込んだ番組を自主制作し、生解説を行っています。また年齢、過ごし方に合わせたプログラムを用意、今回は『じっくり満喫プラネタリウム』を堪能。



プラネタリウムで星座を満喫

『やさしいプラネタリウム』
内 容：季節の星座探し+星にまつわる神話・民話
過ごし方：会話OK！泣いてもOK！途中退場・再入場OK！

『楽しいプラネタリウム』
内 容：今夜の星空開設+星にまつわる神話・民話
過ごし方：会話は小声で、途中退場・再入場OK！

『じっくり満喫プラネタリウム』
内 容：今夜の星空開設+特集解説
過ごし方：静かにご覧ください

その他、『プラネタリウム100周年』、『トワイライトプラネタリウム』など

童心に戻って、楽しく「科学する心」を学ぶ時間を過ごすことができました。

秋のバス研修旅行 2023年11月1日

舞子海上プロムナードとグリコピア神戸(工場)見学

ガイドが魅せる京都コース 弓削 俊彬

9月1日発行の「ざんぐり」第113号の行事予定を見ていると、明石海峡大橋という文字が目飛び込んできました。いつかは行きたいと思っていた場所だったので、すぐに申し込みのための往復はがきを買いに郵便局へ行きましたが、長らく往復はがきというものに触れていなかったもので、どの面に何を書くのか不安で、何度も確認しながら書き込み、ポストに投函し、参加OKのはがきが届くのを楽しみに待つことにしました。

今や、申し込みはQRコードからというのが一般的ですが、何か昭和に戻ったようで、これも良しかなと思いました。

当日、遅れないように早めに家を出て、SKYの旗を目指して、受付へ行って名札をもらって、驚いたことに、バスの座席番号まで記載されていました。そして、手渡された今日の旅程をいただいて、さらに驚きました。装丁も素晴らしいし、高齢者の健康を気遣って、同じおやつを食べるなら、GI値の低いおやつがお勧めということで、おやつの一覧が記載されていて有難かったです。理事の皆さんの練りに練られた準備に敬服しました。

11月1日は朝から好天に恵まれ、快適な陽気のもと、京都駅八条口を午前8時10分に目

的地に向けてバスは出発しました。

まず最初に訪れたのが、1998年に完成した明石海峡大橋の下にある「橋の科学館」です。明石海峡大橋愛がほとぼしる地元のガイド「ゴントロー」さんの案内でスタートしました。「ゴントロー」さんの迫力に引き込まれ、聞き漏らさないようにと、そばについて歩きました。



橋の科学館

「舞子海上プロムナード」から見る明石海峡大橋の大きさに圧倒されると共に、橋が淡路島にもたらした経済効果や住民の生活の利便性の向上には、計り知れない恩恵があったのだと感じました。

海上47メートルの遊歩道には、床が透明になっていて、海からの高さが実感できる場所がありましたが、さすがに透明板の上に体全部を乗せるのはちょっと躊躇しました。



舞子海上プロムナード（外観の一部）



舞子海上プロムナード（内部）

次に、明石海峡大橋を渡って、淡路ハイウェイオアシス内の「みや家」で鯛しゃぶ、てんぷら、刺身などの昼食はおいしく、周りの参加者も満足気でした。

淡路島の特産品やお土産などの売り場では、家族や友人へのお土産をみなさん買っていました。店内中央に蛇口をひねれば、玉ねぎスープが無料で飲めるコーナーがあり、おいしくいただきました。

最後のお楽しみはグリコピア神戸での工場見学です。ここでは、ポッキーとPRETZを製造しています。まず創業者である江崎利一の生い立ちの映像を10分間見ました。牡蠣の煮汁に含まれているグリコーゲンを活用したお菓子「栄養菓子グリコ」を発売し、キャッチコピーは「一粒300メートル」でした。

グリコを自動販売機で売ることを思いつき、さらに映画も見られるという画期的な発明で、行列が絶えない人気となったそうです。

グリコのポッキーの製造過程だけは、企業秘密となっているので、幕で覆われていました。私と同世代なら、グリコを手にしたら、まずおまけの箱を先に開け、喜んだり、がっ

かりしたりした思い出が甦ってきました。

過去のおまけが多数展示されていましたが、木製からプラスチック製へと変わって、いっていいことによって、時代の変遷がよくわかりました。

そして、午後3時半頃にグリコピア神戸を後に、バスに乗って帰路につきましたが、バスの中では、更なるサプライズが用意されていました。ビンゴゲームで、「リーチ」や「ビンゴ」という言葉が飛び交い、車内は大盛り上がりでした。

初めてのSKY大学同窓研修会「秋のバス研修旅行」は満足度100%の素敵な旅でした。



グリコ自動販売機

(10銭硬貨を入れると、音楽と映画が楽しめ、グリコとおつり2銭が出てくる優れもの)

共催講演会 2023年9月11日

「定年後の遊び方」を聞いて…自身が思うこと

毎回、共催講演会（共通講座）を受講された方お一人に受講の感想、報告等を書いて頂いています。

今回は、講演内容が「定年後の遊び方～心理学からのアプローチ～」というテーマであったので、定年という人生の大きな節目をどのように思い、又考え、今に至っているの

かを、定年後の年数が異なる方お二人に感想を書いて頂きました。前向きに歩いてこられたお二人の感想文をご一読ください。

講師は大阪大学名誉教授の赤井誠生先生です。

講演時の写真は、京都SKYセンターから提供して頂きました。

「定年後の遊び方～心理学からのアプローチ～」を聞いて ・・・自身が思う事（1）

歴彩・京都学コース 三木 俊和

定年後：15年

2023 (R5) 年 9 月 11 日(月)、京都テルサで受講しました。事前に講師の赤井誠生先生の著書「定年後の遊び方」(2022年)を読みました。

定年後15年経過します。定年前に多湖輝著「新六十歳からの生き方」(2008年)、河村幹夫著「50歳からの定年準備」(2005年)、河村幹夫著「50歳からの人生設計図の描き方」(2003年)を参考にしました。

2008年9月のリーマンショックは定年直後で、戸惑いました。体調不良で静養していました。仕事が趣味でした。定年後は趣味を学びにしました。

京都SKY大学に入学して、「まなびすと」としてスタートしました。それから10数年経過しました。京都SKYセンターのいろいろな企画は興味深く、好奇心が高まります。居場所と役割があると嬉しいです。

町内会のボランティア活動は楽しいです。元気を戴きます。

リカレント教育、リスクリングの遊びは学ぶことです。出口治明著「なぜ学ぶのか」(2023年)を読みました。今回の講演会でヒントを戴きました。自分史を作成しています。

2020(R2)年からコロナ禍で対面講座が中止になり、オンライン講座等・アーカイブ配信に参加するために通信環境を申し込みました。WIFI通信は申し込んでからから1年かかりました。パソコン・スマホ講座で、生成AI、ChatGPT、アプリに関心を持ち、通信環境に気を配っています。PC・タブレット・スマホを利用しています。デジタル世代の子孫にフォローして

もらいました。

町内会もLINEで伝達されます。アプリツールを学んでいます。

赤井先生の講演で気づきを戴きました。有難うございました。感謝申し上げます。

「定年後の遊び方～心理学からのアプローチ」を聞いて ・・・自身が思う事(2)

歴彩・京都学コース 吉田 十啓

定年後：8年

講座のテーマを見たときは、どのような「遊び方」を提案されるのか、見当もつかなかったが、講座の内容は「なるほどな」と納得できるものであった。

講師の先生は、退職後の状況(不安)について3つに分類して解説された。確かに私は、現役時代と比べ、自由に使えるお金は、大きく減少したが、義務的な使途も大きく減少しており、お金に不自由することはない。だが、老化による健康への影響は、大きく受けており、体のあちこちに不調が生じている。そして、組織からは離れたが、自由が怖いという感情はおきてない。退職後の状況は、個人により多少、差があると思うが、おおむね、講演で述べられたことがあてはまり、多くの人は共感されたと思う。

こうした、私たちの状況をふまえたうえで、先生は、「遊び方」を人が興味を持ちやすい類型で示され、このように遊びにすると面白いと提案された。

私としては、「新しさで遊ぶ」で提案されていた、新しいものにチャレンジし、私なりに面白いものを発見していきたいと思うとともに、日本、時に京都は四季の移ろいが美しいので、「変化で遊ぶ」で提案されていた変化を、旅行や身近な散歩など通して楽しみたいと思う。

あわせて、今まで行ってきた絵画などの趣味的なものも、より一層、取り組み、興味を広げ、知的好奇心を満たし、心豊かな定年後の生活を、送っていききたいと思う。



会場風景1



会場風景2



秋のミニ講座 2023年10月27日

「秋の草花巡り」実施報告

副会長 岩本 照美

日 時：2023年10月27日(金)
午前10時から11時30分
午後1時から2時30分
場 所：京都府立植物園
京都市左京区下鴨半木町
講 師：京都府立植物園公認ガイド
青木 壽子 氏
受講者数：午前の部 22人 午後の部 20人

植物園北山門を入ると、コスモスが満開、あまりの美しさに受講者の顔も和み、雲間から差し込む秋の日差しに良かったと喜びの表情をうかがうことが出来た。

まずは、満開のコスモスのガイドからスタート、そして、ワイルドガーデンへ、フウセントウワタ、ホウキギ、レオノティス、エンジェルトランペットそして、東側塀沿いのイチゴノキ、ヤナギ、竹林に場所を変えて、今注目の牧野富太郎氏が命名のスエコザサへと、針葉樹林の通路に入り、芳しい香りのカツラノキやシナノアブラギリ、名前に驚くバクチノキへと・・・針葉樹林帯では、カヤ、イチイのさわやかな針葉樹特有の香りをかぎ、青木さん持参のカヤの実をさわり、その芳香に感嘆の声が「癒されるね」と、皆の表情が変わる様子が見られた。

小休止も兼ねて、シュウメイギクとキブネギクの鑑賞をする。菊と名がつくがキンポウゲの仲間、キクとの葉の違いを見る。ひと心地付いたところで、四季彩の丘へとピンク色に染まったアケビに驚きの声が、サネカツラ、キビ、ワタ、食用菊、など、名前をよく聞く

草花を間近に見て、これが!! なるほどと納得の声がでる。そして、通路沿いに咲く子福桜(コブクザクラ)へとめしべや実のつき方に合わせた名の由来を聞いて、先人の人たちの豊かな感性を感じ取ることが出来た。

さて、次は、中国原産の植物へ、トチュウの木での種あそび、伸びる糸に驚嘆の声が上がる。そして、目の前に房状に鮮やかな色で垂れさがるオオモクゲンジに見とれながら、最後のステージの古典菊へ向かう。嵯峨菊の背の高さは、御殿の位置からよく見えるように仕立てたもののようで、下の段から七、五、三と花が咲くように仕立てるそうだ。今は、蕾だが美しく咲く日本古来の菊に思いを寄せて講座を終了することになった。

午後は、雷鳴を聞きながら黒雲が迫る空を仰ぎ、終えることになったが、雨にも合わず、充実した内容の植物の説明に満足した気持ちであったのではと皆さんの表情から感じ取れるものがあった。

ガイドの青木さんから説明があったが、人は、太古の時代から植物の生命力の恩恵を受けながら、生きてきた経緯がある。では、何パーセントの影響かというところ99.7%だといわれている。植物なくては、人の進化はなかったといっても過言ではない。講座の中で様々な植物と人とのかかわりを説明いただく中で、納得できたような気がした。植物に対して慈しみを持ちながら接していくと又、植物を見る目や感じ方も変わるのではないかと思えた。

秋のウォーキング 2023年10月16日

健康トライアルウォーキング 「高野川河川敷・松ヶ崎・宝ヶ池・狐坂・松ヶ崎駅」に参加して

投稿者 MW

朝から秋晴れの気持ちの良い日のウォーキング。出発は高野川河川敷から北へ。

高野川は、川底が見える程澄んでいて白鷺、鴨、セグロセキレイ等の水鳥が目を楽しませてくれました。途中、休憩を取りながら松ヶ崎までの川沿いを歩きました。

そこから宝ヶ池公園までは街歩きでは半月後の金木犀が咲き誇り良い香りのシャワーの中をととても癒されながら歩きました。途中、

季節外れの酔芙蓉が満開で、目に嬉しい反面今年の異常な暑さの影響が色んな所にあるんだなあと、喋りながら宝ヶ池公園へ。

木陰では爽やかな風が池には鴨やアヒルが出迎えてくれて比叡山もクッキリときれい見えそこで、パチリと記念撮影！

ホントに清々しく気持ちの良いウォーキングでした。

世話役の皆様有難うございました。



高野川に沿って



国際会館前で 比叡山をバックに



松ヶ崎・新宮神社にて

事務局だより

行事予定

新春バス研修旅行のご案内

開催日：2024年1月19日(金)

行先：滋賀県・多賀大社 竜王いちご園

(詳細は同封の別紙参照)



共催講演会

開催日：2024年1月29日(月)

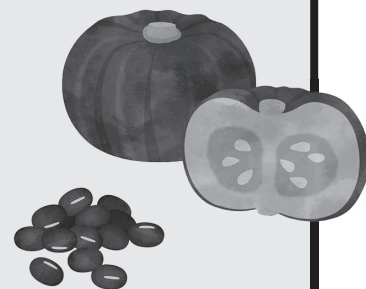
場所：京都文教大学

演題：星占いの歴史

講師：鏡リュウジ氏

(京都文教大学客員教授・占星術研究家)

(詳細は同封の別紙参照)



京都見聞・こぼれ話

第10号

「京北へのいざない 都の造営と山国林業の発展」

をお届けします。



次号「ざんぐり」(115号)の予定

発行日：2024年3月1日(金)

「ざんぐり」は同窓研修会会員の機関誌です。自由にどしどし投稿して下さい。